

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年11月24日(2016.11.24)

【公表番号】特表2014-534826(P2014-534826A)

【公表日】平成26年12月25日(2014.12.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-071

【出願番号】特願2014-527779(P2014-527779)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/01 (2006.01)

A 6 1 B 90/00 (2016.01)

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/00 1 0 1 H

A 6 1 B 19/00 5 0 2

A 6 1 B 1/00 3 0 0 B

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年9月26日(2016.9.26)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 2】

可視化システム110は、処理中での対象物131のその場での可視化のために用いられて良い。可視化システム110は、装置102に組み込まれて良いし(たとえば冠動脈血管内超音波(IVUS)等)、又は、対象物131の外部で用いられても良い。可視化システム110はまた、対象物内の関心領域をマッピングすることで、形状/温度センシング空間でレジストレーション用の画像体積を生成するため、処置前の画像を収集及び処理するのに用いられても良い。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 3】

一の実施例では、ワークステーション112は画像生成モジュール148を有する。画像生成モジュール148は、装置102の少なくとも1つの温度勾配を受け取り、かつ、画像を前記少なくとも1つの温度勾配に対してレジストレーションし、又は、センシング装置104からの結果を表示するように構成される。ワークステーション112は、対象物(患者)131の内部画像を閲覧する表示装置118を有し、かつ、オーバーレイ画像又は装置102(及び/又はセンシング装置104)の挿入/取り出し地点を示す他の画像を有して良い。図2は表示画像の例を示す。可視化システム110は、蛍光分光システム、コンピュータ断層撮像(CT)システム、超音波システム等を含んで良い。表示装置118はまた、ユーザーが、ワークステーション112とその構成要素及び機能、又は、システム100内部の他の任意の構成要素との相互作用することを可能にする。このことはインターフェース120によってさらに容易になる。インターフェース120には、キーボード、マウス、ジョイスティック、力覚装置、又は、ワークステーション112からのユーザーフィードバック及び相互作用を可能にする他の任意の周辺機器若しくは制御装置が含まれて良い。

【誤訳訂正3】**【訂正対象書類名】**明細書**【訂正対象項目名】**0030**【訂正方法】**変更**【訂正の内容】****【0030】**

他の実施例では、挿入地点208が可視化空間内において視認可能である限り、形状/温度センシングデータは、処置前と処置中の両方で可視化データに適合させることができ。たとえば身体131の画像とセンシング装置104の病臥は一緒に表示されて良い。挿入地点208は、両方の空間をレジストレーションするための共通の参照点を与えて良い。これによって、ファイバ126自体が視野内で視認不可能な場合、又は、存在するファイバの一部分52が明確な融合（たとえばファイバ装置は、視野を貫通するする1本の線として現れる）を可能にするための十分な構造上の詳細を欠く場合においてレジストレーションの際に直面する問題が解決される。

【誤訳訂正4】**【訂正対象書類名】**明細書**【訂正対象項目名】**0032**【訂正方法】**変更**【訂正の内容】****【0032】**

装置104の長さに沿った温度変化は、挿入地点208を動的に決定することによって、又はより一般的には、様々な温度領域内での位置を決定することによって監視される。上述したように、これは、標的に接近しているのか否かを予測するために処置前の可視化と組み合わせられて良い。それもまた、挿入地点が可視化モダリティにおいて視認可能であるときには、形状センシングシステムに適合され、かつ、その形状センシングシステムにレジストレーションされて良い。

【誤訳訂正5】**【訂正対象書類名】**明細書**【訂正対象項目名】**0041**【訂正方法】**変更**【訂正の内容】****【0041】**

ブロック412では、身体の画像が、参照地点としての温度遷移点を用いることによって温度/形状センシング空間にレジストレーションされる。ブロック414では、温度情報が表示される。遷移点及び/又は温度勾配は、医療者が処置の精度や処理能力などを改善するように表示されうる。

【誤訳訂正6】**【訂正対象書類名】**図面**【訂正対象項目名】**図4**【訂正方法】**変更**【訂正の内容】**

【図4】

